

- 問1 EU（欧州連合）では、2000年代以降に東欧諸国が相次いで加盟したことにより、加盟国間での経済状況の違いが大きな課題となっています。各国の経済水準を比較する際に指標として用いられる、国民1人あたりの生産額を示す統計数値を何と言いますか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 一人当たりの国内総生産（GDP）
 2. 国民総所得（GNI）
 3. 消費者物価指数
 4. 実質経済成長率
-
- 問2 ロンドンは高緯度に位置しながらも、冬季の気温が比較的温暖であるという特徴があります。12月から3月にかけての平均気温が5.7度から8.0度の範囲にあり、氷点下を記録する札幌や、1.0度から5.9度の範囲にあるニューヨークよりも高い数値を示す要因として正しい説明はどれですか。（2020年 三重県公立入試 類似）
1. 赤道付近から流れてくる寒流の影響を強く受け、湿った季節風が大陸から吹き込むため。
 2. 標高が低く平坦な地形が多いため、夏に蓄えられた地熱が偏西風によって冬季まで維持されるため。
 3. 高緯度を流れる暖流の北大西洋海流の上空を、偏西風が吹くことで温かい空気が運ばれるため。
 4. 北大西洋海流という暖流の影響は受けるが、冬には大陸からの乾燥した季節風が気温を押し上げるため。
-
- 問3 ヨーロッパにおける産業の動向について、イギリスのロンドン郊外など、大都市の周辺に情報通信技術（ICT）に関連する企業が集積している理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）
1. 広大な土地を利用して、安価な労働力による大量生産を行うため
 2. 高度な教育を受けた人材や研究機関を確保しやすいため
 3. 天然ゴムなどの原料を栽培するプランテーションが近接しているため
 4. 原料となる石炭や鉄鉱石が豊富に産出される地域であるため
-
- 問4 ヨーロッパ州の主要国における産業の特徴について、統計上で年間8000万人を超える外国人旅行者が訪れる世界的な観光大国であり、かつ小麦の生産量が3800万トンを超えて欧州最大級である国を選びなさい。（2018年 愛知県公立入試 類似）
1. イギリス
 2. ドイツ
 3. イタリア
 4. フランス
-
- 問5 北緯約49度に位置するフランスのパリと、北緯約43度に位置する日本の札幌の統計データを比較したとき、パリの気候の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2017年 香川県公立入試 類似）
1. 季節風の影響を強く受けるため、札幌に比べて夏と冬の気温差が非常に大きい
 2. 寒流の影響を強く受けるため、一年を通じて降水量が少なく、札幌よりも乾燥している
 3. 札幌よりも北に位置しているが、冬の気温は札幌よりも高く、年間の降水量の変動も小さい
 4. 札幌よりも北に位置しているため、冬の気温は札幌よりも大幅に低く、夏に降水量が集中する
-
- 問6 先進国の食料自給率に関する説明として、フランスとスウェーデンの特徴をふまえた記述として最も適切なものはどれですか。（2024年 香川県公立入試 類似）
1. フランスは、穀類と肉類の両方で自給率が100%を超えており、主要な食料輸出国としての側面を持つ。
 2. スウェーデンやフランスなどの先進工業国は、工業製品の輸出に特化しているため、どの品目の自給率も50%を下回る。
 3. 先進国の中でも、日本とフランスは穀類と肉類の両方で自給率が極めて低いという共通点がある。
 4. フランスは野菜や果実の自給率は高いが、穀類は輸入に頼っているため、自給率は100%に達しない。
-
- 問7 ドイツ周辺で見られる気候のデータとして、年平均気温が10.0℃、年降水量が578.3mmという統計があります。この地域の気温と降水量の推移に関する説明として、背景や理由を含めて正しく述べたものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 偏西風や暖流の影響を受けるため、冬の気温が氷点下にならないほど温暖で、気温の変化を示す曲線がなだらかになる。
 2. 南半球に位置しているため、北半球とは季節が逆になり、7月前後の気温が最も低く推移する。
 3. 広大な大陸の内部に位置するため、夏と冬の気温差が非常に大きく、年降水量は300mmを下回るほど乾燥する。
 4. 熱帯収束帯の影響を強く受けるため、年間を通じて気温が25℃を超え、降水量が2000mmを上回る多雨となる。
-
- 問8 EU（欧州連合）における、人や物の移動の自由化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、ここでは国境を越える際の物理的・経済的な障壁の変化に着目するものとします。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 域内の貿易を制限するためにすべての国境に関税を課し、共通通貨ユーロの使用を一部の主要都市のみに限定した。
 2. 加盟国間の移動には常にビザが必要であるが、共通通貨ユーロを導入したことで国境での税関検査がすべて免除された。
 3. シェンゲン協定により加盟国間の国境でのパスポート検査が廃止され、共通通貨ユーロの導入によって経済活動の利便性が向上した。
 4. 加盟国間の国境管理を強化するためにパスポート検査を義務付け、各国が独自の通貨を維持することで経済の安定を図った。
-
- 問9 ヨーロッパ南部の地中海沿岸地域で見られる、夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの果樹栽培と、比較的雨の多い冬の気候を利用した小麦栽培などを組み合わせた農業形態を何と言いますか。（2023年 長崎県公立入試 類似）
1. プランテーション農業
 2. 地中海式農業
 3. 焼畑農業
 4. 遊牧
-
- 問10 欧州連合（EU）が共通通貨「ユーロ」を導入した背景にある目的や、導入によって得られる経済的な利点として、最も適切な説明を選びなさい。（2020年 福島県公立入試 類似）
1. すべての加盟国の物価や税率を、強制的に同じ水準に固定するため
 2. 各国の国立銀行を廃止し、個別の国家予算の編成を禁止するため
 3. ヨーロッパ以外の国々との貿易を制限し、域内の自給自足を達成するため
 4. 加盟国間での両替の手間や手数料をなくし、貿易や投資を活性化させるため
-
- 問11 西ヨーロッパに位置するフランスの産業や、日本の製造業との関わりについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 長野県公立入試 類似）
1. 日本よりも高い労働賃金水準にあり、自動車産業などの高度な技術を要する生産拠点が置かれている。
 2. 安価な労働力を活用することを主な目的として、日本の製造業が衣類などの軽工業の拠点を集中させている。
 3. 北海で産出される資源の加工を主な目的としており、日本の精密機械メーカーは進出を控える傾向にある。
 4. ヨーロッパ大陸の東側に位置しており、地中海沿岸の気候を利用した稲作が日本の製造業進出の背景となっている。
-
- 問12 ヨーロッパのイギリス付近が同緯度の他の地域と比べて冬でも温暖で、年中平均した降水量を示す気候となる理由として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
1. 暖流である北大西洋海流と、その上空を吹く偏西風の影響を受けているため。
 2. 赤道付近からの貿易風と、地中海からの乾いた風の影響を受けているため。
 3. 寒流であるカナリア海流と、大陸から吹く季節風の影響を受けているため。
 4. 高大な山脈によって北からの寒気が遮られ、上昇気流が発生しやすいため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 一人当たりの国内総生産（GDP）	EUの拡大に伴い、比較的経済発展が遅れていた東欧諸国が加盟したことで、西欧・北欧の古くからの加盟国との間で「一人当たりの国内総生産」に大きな差が生じています。この経済的格差は、EU内での労働力の移動や、工場の移転先選定など、域内の経済活動に大きな影響を与える要因となっています。
問2	答え 3 高緯度を流れる暖流の北大西洋海流の上空を、偏西風が吹くことで温かい空気が運ばれるため。	ヨーロッパの北西部は、高緯度であっても北大西洋海流という暖流の影響を強く受けます。この暖流の上空で温められた湿った空気が、一年中吹いている偏西風によって陸地側へと運ばれるため、同緯度の他地域や、より低緯度に位置するニューヨークなどと比較しても冬季の気温が下がりにくくなっています。
問3	答え 2 高度な教育を受けた人材や研究機関を確保しやすいため	先端技術産業の立地には、高度な専門知識を持つ人材や、大学・研究所といった研究開発拠点の存在が不可欠です。そのため、交通の便が良く、都市機能が充実した大都市の郊外に多くの企業が集まる傾向があります。石炭や鉄鉱石を燃料・原料とするかつての重工業とは異なり、立地の優先順位が資源の産地から「知的資源」の集まる場所へと変化していることが背景にあります。
問4	答え 4 フランス	フランスは広大な国土と肥沃な平原を活かした小麦栽培が盛んで、EU最大の農業国としての地位を築いています。また、豊かな歴史的建造物や文化を背景に、世界中から多くの観光客を惹きつける観光大国としての側面も併せ持っています。
問5	答え 3 札幌よりも北に位置しているが、冬の気温は札幌よりも高く、年間の降水量の変動も小さい	パリは札幌よりも高い緯度にあります。北大西洋海流（暖流）と偏西風の影響により、冬の寒さが和らげられています。これに対し、札幌は大陸からの季節風の影響を強く受けるため冬の寒さが厳しく、パリの方が冬の気温は高くなります。また、パリが属する西岸海洋性気候は、一年を通じて偏西風の影響を受けるため、月ごとの降水量の変化が少なく、グラフの起伏が緩やかになるという特徴があります。
問6	答え 1 フランスは、穀類と肉類の両方で自給率が100%を超えており、主要な食料輸出国としての側面を持つ。	先進国＝食料自給率が低いという認識は誤りです。フランスのように、高い農業生産力を持ち、穀類や肉類で100%を超える自給率を達成している国もあります。スウェーデンも先進国ですが、北欧の冷涼な気候条件などに合わせて、日本よりは高い水準で食料自給を維持しつつ、フランスとは異なる生産構成をとっています。
問7	答え 1 偏西風や暖流の影響を受けるため、冬の気温が氷点下にならないほど温暖で、気温の変化を示す曲線がなだらかになる。	ドイツの気候は西岸海洋性気候であり、その最大の特徴は「緯度のわりに冬が温かい」ことです。これは北大西洋海流（暖流）の影響を受けた湿った空気が、偏西風によって運ばれてくるためです。提示された年平均気温10.0℃や年降水量約600mmという数値は、極端な寒冷地や乾燥地ではない、穏やかな温帯の性質を裏付けています。
問8	答え 3 シェンゲン協定により加盟国間の国境でのパスポート検査が廃止され、共通通貨ユーロの導入によって経済活動の利便性が向上した。	ヨーロッパでは、経済や政治の統合を目指すEUの取り組みにより、加盟国間の移動を妨げる障壁が取り除かれてきました。シェンゲン協定は国を跨ぐ際のパスポート検査を不要にし、共通通貨ユーロは異なる通貨間の計算や両替を不要にしました。これらにより、国境を越えた通勤や物流が極めて容易になり、域内の一体感が高まっています。
問9	答え 2 地中海式農業	地中海沿岸で見られる地中海性気候は、夏に乾燥し、冬に一定の降水があるのが特徴です。この気候条件に合わせ、夏には乾燥に強い「硬葉樹」と呼ばれるオリーブやブドウなどを栽培し、冬には雨を利用して小麦を育てるという、合理的で工夫された農法が発達しました。
問10	答え 4 加盟国間での両替の手間や手数料をなくし、貿易や投資を活性化させるため	共通通貨を導入する最大のメリットは、国をまたぐ際の通貨交換（両替）が不要になることです。これにより、手数料などのコストが削減されるだけでなく、国を越えた価格比較が容易になり、企業や消費者の活動がより円滑になります。これは、国境を越えて「ヒト・モノ・カネ・サービス」が自由に移動できる単一市場を目指すEUの理念に基づいています。
問11	答え 1 日本よりも高い労働賃金水準にあり、自動車産業などの高度な技術を要する生産拠点が置かれている。	フランスは西ヨーロッパを代表する経済大国であり、日本の製造業にとって、単なるコスト削減のための拠点ではなく、高い技術力や欧州市場へのアクセスを重視した投資対象となっています。設問のデータにある通り、労働賃金は日本を大きく上回る水準（約1.47倍）であり、自動車産業のような資本と技術を集約した分野での海外展開が特徴的です。
問12	答え 1 暖流である北大西洋海流と、その上空を吹く偏西風の影響を受けているため。	高緯度に位置するイギリス周辺は、暖流である北大西洋海流とその上を吹く偏西風の影響を強く受けています。この影響により、冬でも気温があまり下がらず、年間を通じた月平均気温や月降水量の変化が穏やかになります。